

令和3年度地震・津波防災訓練 (内閣府・高知県高知市)

実施報告書 (概要版)

高知県高知市について

高知市は四国南部の中央付近、東経133度31分53秒、北緯33度33分32秒に位置し、東西最長21.49km、南北最長24.83kmであり、市域面積は309.00km²となっている。市の北部には急峻な四国山地があり、標高1,176mの工石山を有する山地が東西に連なっています。また、南部では丘陵地帯が浦戸湾を挟んで東西に連なっている。

高知市泉野小学校区では、地元の自主防災連合会が中心となり、地域の津波避難の在り方を検討してきた。

高知市では、津波被害から命を守るために、市民一人ひとりが「津波から避難する」意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な高台や津波避難ビルなどへ迅速に避難することを目的とした地区別の「津波避難計画」を地域の自主防災組織等と策定しており、泉野小学校区も策定している。



出典：国土地理院

訓練概要

- 想定：令和3年10月31日10時15分、四国沖の南海トラフを震源としたマグニチュード9.0の巨大地震が発生。高知市内では、震度7を観測し、沿岸部、平野部の広い範囲で最大震度7から6強、山間部でも最大震度6強から6弱を観測。
- 実施日時：【訓練実施前WS】令和3年10月23日（土）
 【訓練】令和3年10月31日（日）10:00～14:00
 【訓練実施後WS】令和3年10月31日（日）15:00～15:30
- 主催：高知市、内閣府
- 参加者数：約500名
- 参加機関：国土交通省四国地方整備局（高知河川国道事務所 / 土佐国道事務所 / 高知港湾・空港整備事務所）気象庁高知地方气象台、海上保安庁高知海上保安部、防衛省陸上自衛隊第50普通科連隊高知県、高知県警察、高知市消防局、高知市上下水道局高知市消防団、日本赤十字社、NTTグループ、高知県LPガス協会、四国電力送配電（株）、高知県トヨタ販売店グループ、中四国丸和ロジスティクス（株）、高知シティエフエムラジオ放送（株）、NPO法人AMDA、NPO法人PWJ

訓練の評価

新型コロナウイルス感染症が流行している中、感染症対策を徹底し、泉野小学校区全住民対象とした訓練を実施することができた。

訓練前日の悪天候により、当日は屋外の防災イベントは実施することができなかったが、市民、市職員、参加機関等合わせて約500名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、地域住民のアンケート結果等を分析し、今後の防災対策や津波避難訓練の参考となるよう「得られた成果と対策案」を整理した。

【得られた成果】

- 避難訓練では、地域住民が一時避難所から二次避難所へ移動する中で避難経路の危険箇所等を確認することができた。
- 避難所開設訓練では一部住民参加のもとで受付実施等の開設手続きを確認し、平時からの取り組みの重要性について行政、住民、施設職員、消防団等で認識を共有できた。

【今後の対策案】

- 市内中心部においては地震発生後、市が指定している避難所への避難経路が土砂災害や渋滞等により通行できなくなる可能性があり、市の指定する避難所の他、地区毎に、津波からの一時的な避難先を検討しておくことが重要である。
- 次年度以降、訓練参加者の増加を促すために、住民への防災の意識醸成を図るための情報発信や定期的なワークショップの場の創出が重要である。

10月23日（土）14:00～16:00 事前ワークショップ

地震津波対策の重要性や自助・共助の必要性についてアドバイザーの大槻先生（高知大学）より講演いただいた。また地域の現状の再確認として、過去の災害や避難経路上の危険な箇所等についてグループワークで共有を図った。

▼アドバイザー講演
（高知大学・大槻准教授）



▼ワークショップにおける
避難経路上の危険箇所の討議



10月31日（日）10:00～14:00 実働訓練（シェイクアウト訓練・津波避難訓練等）

緊急地震速報の発表後、市民は、自宅でシェイクアウト訓練を実施し、まずは自らの身を守る行動をとることの重要性について再度認識した。続いて、一次避難所である高台へ避難した後、二次避難場所である泉野小学校へ避難する訓練が行われた。

泉野小学校では、自主防災組織のメンバーや関連企業・団体が参加し、自助共助の考え方のもと、主体的に住民が動けるよう、避難所開設・運営訓練、避難所開設訓練を実施した。

また、小学校内では、陸上自衛隊第50普通科連隊と協力し炊き出し訓練や物資配送訓練等を実施し、大人数への供食について理解を深め。

▼シェイクアウト訓練



▼津波避難訓練



▼避難所開設訓練



▼避難所運営訓練



▼炊き出し訓練



▼物資配送訓練



10月31日（日）15:00～15:30 訓練後ワークショップ他

アドバイザー協力のもと、訓練の振り返りを実施し、地震・津波発生時に地域で想定される課題や必要となる共助についてグループワークで整理を行った。

また住民の防災への意識醸成にむけた啓発資料を作成した。

▼訓練の振り返り



▼普及啓発資料



アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

○住民アンケート調査（回収数：79）

